

令和3年度 中等部入学試験 第3回(試験I) 解答用紙

※1

(注意:※の部分には何も記入しないこと)

1

(1) 14	(2) 7	(3) 2000 円	(4) 27.84 cm ²
--------	-------	------------	---------------------------

※2

2

※(1)

※(2)

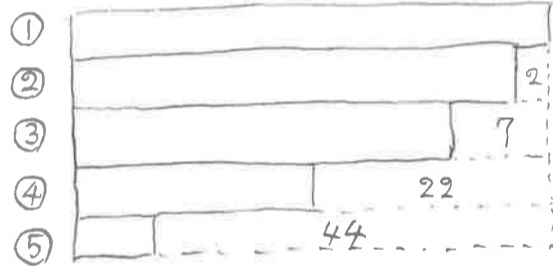
(1)

$$2 + 5 = 7$$

7 匁

(2)

1番目より 2番目は2匁少ない。
 3番目は7匁少ない。
 4番目は $7 + 15 = 22$ 匁少ない。
 5番目は $22 + 22 = 44$ 匁少ない。



$$(300 + 2 + 7 + 22 + 44) \div 5$$

$$= 375 \div 5 = 75$$

75 匁

受験番号					氏名	
------	--	--	--	--	----	--

※1, 2

令和3年度 中等部入学試験 第3回(試験I) 解答用紙

3

(1)	う		※(1)
①			※(2)
②	輪ゴムで作った弦を指で押さえて、弦を短くしたり、長くしたりしてはじき、音の高低を調べる。		
①	$\frac{9}{8}$	② $\frac{1}{3}$	※(3)
(3)	組み合わせ: ソ ・ シ ・ レ(高)		
③	理由: 逆数を並べたとき、となりどうしの数の差が $\frac{3}{8}$ で同じだから。		
(4)	大だいには低い音が出て、小だいには高い音が出る。		※(4)
(5)	いわゆる鎖国が行われている時代に、貿易などのためオランダの船に乗って日本へやってきた人物。		※(5)
(6)	高度経済成長とともに、家庭に経済的な余裕が生まれたから。		※(6)
(7)	① Δ	② 木材加工業	※(7)
(8)	出荷する地域によって湿度がちがうので、その地域の湿度に合わせて、より良い音やひびきが表示できるようにするため。		※(8)

※3

※4

4 の解答欄は裏にあります

受験番号						氏名	
------	--	--	--	--	--	----	--

※3 4

4

(1) B 市 理由 プロスポーツチームがなく、かつ大きな体育館があるから。

※(1)

(2) 速く走るために、先頭を細長くして、屋根の上を平らにして、空気抵抗を減らす工夫がされている。

※(2)

※(3)

(3) 砂は $1.9 \times 100 = 190$ トン
海水は 140 m^3 で、
 $1 \text{ m}^3 = 100 \times 100 \times 100 \text{ cm}^3$
 $= 1000000 \text{ g} = 1000 \text{ kg} = 1$ トン
だから 140 m^3 は 140 トン
 $190 + 140 = 330$
330 トン

(4) 古くから北海道などで狩りや漁などをしてくらしていた。

※(4)

※(5)

① 50 %

(5) ② 機械は力が強く、そのままと弾力(コシ)が強くなりすぎるので、弾力を弱くするために塩の量を少なくする。

③ 夏は湿度が高く、空気中の水分量が多いため。

※(6)

(6) ① A ウ B ア C イ

② うずしあ

(7) ① 空海(弘法大師)

※(7)

(7) ② 年間降水量が少ないため、水をためておくために、ため池が多い。

※4

令和三年度 中等部入学試験 第三回 (試験Ⅱ) 解答用紙

(◆印の部分は何も書かないこと)

問1

息子が、何度も頭をぶつける経験をするこ
で、今より少し先に心を働かせ、このままだ
と頭をぶつけると感じられる想像力を得てい
くことを信じているため、親が今何か言う必
要はないという考え。

受験番号
氏名

◆

問1

問2

(◆印の部分は何も書かないこと)

私は、本を読むのが好きで、五年生のころはよく夜ふかしをしていました。次の日起きる時にとっても苦勞しましたが、やめられませんでした。でも、そのせいでじゅくの大事なテストにちこくしてしまったことや、ねむいままテストを受けて悪い点数をとったことがありました。とてもいやでした。

そこで、「どうしたら本を読みたい気持ちをかまんできるか」を考え、先にペー지를決めて、「明日はテスト」と書いたしおりをはさみ、そこまで読んだらねることにしました。すると、テストにちこくしたことを毎回思い出して、早くねるようになりました。

何度が失敗したことで、少し先のことを想像して、目の前のやりたいことをかまんする力を身につけました。

340 300 200 100 20

I
II
III
IV
V

受験番号

氏名

